

若者通信が今年の十月で発行から一周年を迎えるにあたり、特別号の発行が決定。特別号では、吉岐出身の著名人であり、学校への寄付を行うなど吉岐の学生へエールを送る下條氏が吉岐の魅力などについて熱く語る。
吉岐の魅力を再発見するとともに、心に残るメッセージに出会えることを願い、冒頭のあいさつとする。(記事作成者より)

しもじょう ゆうたろう
下條 雄太郎 氏



《学生時代》

勝本町出身。幼い頃から体を動かす事が好きで小・中学校は野球部、高校は吉岐高校の柔道部に所属していました。家業を継ごうと電気専門学校への進学を予定していましたが、ポットトレーサー養成所への合格を機に、その道へ進むことを決意。吉岐では過去に前例のないことで、**不安な気持ちを抱えながらの挑戦**だったことを覚えています。

～吉岐の魅力再発見の旅へ～



若者定着促進会議
清水・豊坂

【お問い合わせ先(事務局)】
TEL : 0920-47-4396
FAX : 0920-47-4809
MAIL : s13015@pref.nagasaki.lg.jp
(吉岐振興局 地域づくり推進課)

《吉岐の魅力》

吉岐といえば、イベントがたくさん。お祭りなどの昔からお祭りの非日常的なイベントが大好きでした。イベントって自然と人が集まるし、運営したり、ボランティア活動したりする中で人と人との交流が生まれるし、いいことづくしなんですよね。そんなイベントが盛んな吉岐って最高だなんて大人になって自分ひとりじゃ何もできないことを痛感したからこそ、人と人が協力し一つのものを作り上げるイベントに魅力を感じるのかも。

辰の島フェスタ



吉岐の綺麗な海をバックにしたこのイベントはおすすめ！

吉岐の食

やっぱり魚。小さい頃は親せきからもらった新鮮な魚をよく食べていました。魚に限らず吉岐の素材は抜群。最高の素材だからこそ、サービスマンや盛り付けなど更なる工夫を凝らすことで観光客が飛びつくこと間違いなし！



夏★夢★祭



出場経験あり！

海の上にロープを張り、腕の力だけで渡る距離を競ういわば綱渡り大会。地域の人だけでなく、観光客等幅広く参加できるところが魅力！

地元勝本町片山触の相撲大会



地域の年代と力試する最高のイベントでした。同年代の仲間と比べると体が小さかった私ですが、その中でも工夫して勝ちをつかみに行く感覚が楽しかったことを、今でも覚えています。

吉岐の人

島外に出て思うのは、やっぱり吉岐の人はフレンドリーだなんてこと。



吉岐のイベント

吉岐のお酒

仕事仲間や友人に吉岐の焼酎をお土産として渡すことも。



《若者通信の魅力》

他にはない良い取り組みだと思えます。志岐で働いている人、外に出て戻ってきた人、色々な人の思いや考えを知りたい機会。若者同士で話し合い、色々な意見を取り入れて自分の考えに繋げてほしいです。



若者通信に登場してくれた志岐出身の若者たち！

志岐で輝く若者通信 検索

《若者たちへ》

私が学校への寄付を始めたのは皆さんに自分の夢に向かって頑張りたいという思いからでした。今振り返ってみると、プロになるためのきつい訓練を乗り越えられたのは、紛れもなく高校時代の部活の経験があったからです。でもひとつだけ後悔していることがあります。もっと勉強しとけばよかったなって。社会人になって色々な人と関わる中で学(が)が一つの武器になることを痛感したんです。まだ遅くないと思っ、実は今、本を読んだりして

勉強しているところです。自分がやりたいと思ったことはできないと嘆くより、どうしたらできるかを考える方がはるかにいいですね。広い選択肢を持つて積極的にチャレンジすることを忘れないでください。そして、最後に礼儀。ポーターサーとして半人前だったころ、師匠に教えてもらったことです。失敗した時に励ましてくれたり、困った時に助けてくれる人が身近にいたことは、少なからず師匠に叩き込まれた礼儀のおかげだと思っっています。

《私にとっての志岐》



ゆっくりしたい時に帰りたい、志岐はそんなことを思わせてくれる場所です。なんといっても志岐の自然は魅力そのもの。日の出の入りを見ることができるとも、志岐ならではの。当たり前前のことではないですよね。

《島外から見た志岐って？》



取材中、「大ファンです！」と声をかけられるほどの人気っぷり！

志岐は魅力が詰まった島。材料はあちらこちらに転がっています。若い力で志岐を盛り上げるためのアイデアを生み出し大人を巻き込んでいってください！



特別号に、私を取り上げてくれてありがとう！ポーターサーとして活躍し、志岐の魅力をさらにPRできるような自称志岐の観光大使として日々活動していきます！！

福岡県の人は結構知っているかな。ポーターサーや職場の同僚からは「この前志岐に行ってきたよ！」「今度志岐に行くんだけど、おすすめは？」なんて話しかけられることも。でも志岐対馬ってひとくくりにされることが多いのも事実。志岐の人のおもてなしや人とのつながりが「また志岐に来たい！」と思うきっかけになると話していましたね。

経歴
高校を卒業後、福岡県のポーターサー養成所へ。在学時、模擬レース中の事故で大怪我を負い長い入院生活を送る。卒業後は、志岐のジャッカルの名のもと通算優勝回数二十一回の成績を誇る。現在は長崎支部を代表する存在として活躍中。

仕事
自分の頑張りの結果に繋がる仕事。全国に二十四箇所あるレース場から仕事の依頼が入るため、自宅には月に数日しか居ない事も。

プライベート
趣味は筋トレと自負する程の筋トレマニア。様々な設備が整ったジムを所有し経営している。体力を競う某テレビ番組出場に向け準備を進めているんだとか。

筋トレとは裏腹に動物好きというギャップも。現在は二匹の愛猫から癒しを受けて仕事への活力を得ている。オフ期間には家族と一緒に志岐の実家に帰っているそう。親のご飯が一番と語る。

